



わくわくデーだより

～極楽寺さんに行って住職さんからお話を聞きました～ 11月19(木)
平田保育所

11月12日(木) 保育所の近くにある極楽寺さんを訪問しました。子どもたちはお寺の雰囲気に対し緊張している様子が見られ、お話が始まると松井さんの顔をしっかりと見て、集中して聴くことができました。

松井さんからは2つのお話をしていただき、1つは「長い箸を使って食べるためにはどうしたらいいか」というお話、もう1つは「くもの糸」というスクリーンシアターを見せていただきました。「長い箸」のお話では「長い箸で食べるにはどうしたらいい？」という松井さんの質問に戸惑っていましたが、「自分が箸でごちそうを持って、先に相手に食べさせる。」ということを教えていただくと、その後からは「3人になったらどうする？」と松井さんから質問があっても「隣の友だちに食べさせてあげてから自分が食べる。」などと子どもたちからの声が聞こえました。「自分が自分が」ばかりでは食べられない。相手のことを考え、してあげることで自分にも返ってくる。」という思いやりの話をしてもらいました。

その後、「くもの糸」のスクリーンシアターを見せてもらいました。この話は、釈迦がおろしたクモの糸を登ろうとした男が、自分に続いて地獄の罪人が登ってくるのを見て「このクモの糸は俺のものだ。おりろ。」と言ったとたんにクモの糸が切れて、再び男は地獄に落ちてしまったという話でした。このお話を通して「自分ばかり助かろうとしてはいけない。思いやりを持ち、みんなで協力することの大切さ。」についてお話をして頂きました。子どもたちは、松井さんのお話をとても真剣に聞いていました。

また、お話を聞かせてもらった後に、木魚を4人組で叩かせてもらいました。松井さんに「強く押し当てるように叩くのではなく、ばちが跳ね返るように叩くといい音がするよ。」とを教えてもらい、友だちと順番にいい音がする部分を探しながら叩いていましたよ。また、叩きながら回数を口にする子ども達を見て、「住職は口で数えるのと、叩くのを交互にするんだよ。」と教えてもらい、実際にやってみると交互にするのは難しかったですが、積極的に挑戦する子ども達でした。

最後に子どもたちから極楽寺さんに質問する時間を設けると、手をあげて松井さんに質問していました。木魚の模様について、お寺は何のためにあるのか、お寺のあらゆるところに描かれている龍についてなど、たくさん質問し、興味津々の様子でした。

松井さんからとても素敵なお話をしていただきましたので、お子さんにどんなお話だったのか、また聞いてみてくださいね。

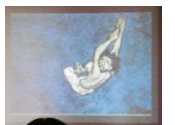
“長い箸”の話、“くもの糸”の話を松井さんにしてもらいました



右手が上
左手が下



仏様の手について教えてもらいました



木魚の模様は魚が2匹描いてあるんだよ。



松井さんにいろんなことを質問しました。

木魚を叩いたよ！